



はじめに

Virtual Desktop Managed Service

NetApp
July 19, 2022

目次

はじめに	1
Virtual Desktop Managed Service （ VDM ） の前提条件	1
Virtual Desktop Managed Service （ VDM ） サービスの概要	2

はじめに

Virtual Desktop Managed Service （VDM）の前提条件

M365 ライセンス

VDM は、Microsoft Windows Virtual Desktop (WVD) テクノロジーを使用して構築されています。WVD の前提条件では、エンドユーザーに特定の Microsoft 365 （ M365 ） ライセンスを割り当てる必要があります。このライセンスは VDM サブスクリプションには含まれていません。ネットアップがこのライセンスを販売または提供することはありません。

M365/WVD ライセンスのコンプライアンスに対する責任は、顧客企業、パートナー企業、および M365 ベンダーにあります。

VDM の WVD ライセンスをサポートするさまざまな M365 プランがあります。詳細については、を参照してください "[こちらをご覧ください](#)"。

M365/Azure AD テナント

既存の Azure AD テナントが必要です。Microsoft 365 は、同じ Azure AD テナント構造に基づいているため、上記の M365 ライセンス要件を満たすこともこの要件を満たします。

CSP 販売代理店関係

ネットアップでは、Microsoft と CSP の関係を使用して、VDM を専用の Azure サブスクリプションに導入しています。このサブスクリプションを導入するには、お客様の Azure AD テナントとリセラーの関係を確立する必要があります。お客様の Azure AD テナントのグローバル管理者は、ここでこの関係を承認できます。

<https://admin.microsoft.com/Adminportal/Home?invType=ResellerRelationship&partnerId=47c1f6d2-b112-48e0-915f-4304efffb3e8&mspId=0&DAP=true#/BillingAccounts/partner-invitation>

マルチパートナー機能には、次のような特徴があります。

- お客様の既存のサブスクリプションを変更します
- お客様の既存のサブスクリプションまたはアカウント所有権を移行します
- 既存のサブスクリプションの契約条件またはお客様の義務を変更します
- サブスクリプションのレコードのパートナーを変更します
- 詳細： <https://docs.microsoft.com/en-us/partner-center/multipartner>

管理権限の委譲

招待リンク（上記）には、委任管理者権限のリクエストが含まれています。承認すると、お客様の Azure AD テナントで NetApp Global Admin ロールと Helpdesk Admin ロールが付与されます。

仮想ネットワークのスコープ

VDM は Azure 内の仮想ネットワークに導入されます。このネットワークに使用される /20 IP 範囲を、環境内の他のネットワークと重複させることはできません。

VDM 仮想ネットワークと他の顧客のネットワーク間のネットワーク接続を追加する場合、他のネットワーク IP 範囲と重複すると、VDM が切断されます。したがって、完全に未使用の /20 範囲を VDM 専用にすることが重要です。

/20 ネットワークスコープは、次のいずれかの IP 範囲内に配置する必要があります。

- 10.0.0.0 ~ 10.255.255.255
- 172.16.0.0 ~ 172.31.255.255
- 192.168.0.0 ~ 192.168.255.255

VDM ワークシートを展開します

お客様 / パートナーは、次の URL にある Deploy VDM ワークシートに記入する必要があります。<https://www.deployvdms.com/>

既存の AD 統合

VDM を既存の Active Directory ドメインコントローラ（AD DC）と統合するには、さらに次の前提条件が必要です。

ローカルドメイン管理者クレデンシャル

統合を確立するには、既存のドメイン上で domainjoin 権限を持つローカルドメイン管理者アカウントが必要です。

Azure AD 接続

WVD では、Azure AD が AD Connect を使用して AD DC と同期されている必要があります。これがまだセットアップされていない場合は、セットアップされています **"ユーティリティ"** AD DC にインストールし、設定する必要があります。

/=== VNet ピアリング用のネットワーク貢献者ロール /=== VPN を設定するためのローカルゲートウェイデバイス管理者権限 /=== DNS ゾーン（詳細な技術情報が必要） /=== マルチドメイン保存を行わない場合、ユーザーは展開先のドメインに属している必要があります

Virtual Desktop Managed Service （VDM）サービスの概要

ユーザーリソースの割り当て



この記事では、VDM サービスの技術的な詳細について正確に説明します。サービスの詳細は変更される場合があります。この記事は、ネットアップとお客様またはパートナー様との間の既存の契約、契約、その他の取り決めに対する修正または変更を表しているものではありません。

共有ユーザー（**SKU: VDM-**サブスクリプション - 共有ユーザー）

共有ユーザーセッションは、最大 10 のユーザーセッションを持つセッションホスト仮想マシン（SHVM）上で実行されます。割り当てられた共有 SHVM の総数により、環境内の 10 人の共有ユーザーごとに少なくとも 1 つの共有 SHVM が確保されます。

- 共有ユーザーごとに割り当てられたリソース :*
- vCPU コアの 8 / 10 分の 1
- 6.4GiB の RAM
- 25GiB ストレージ
- 共有 SHVM 技術詳細 : *
- 通常はから "Esv3"、"Eav4." および "Easv4" Azure 仮想マシンのファミリー。
- 128GiB の標準 SSD OS ディスク
- 仮想デスクトップ向け Windows 10 Enterprise
- FSLogix によって接続されたコンテナユーザープロファイル
- 会社の共有に接続されたストレージ

VDI ユーザ (SKU: VDM- サブスクリプション - VDI-USER)

VDI ユーザーのセッションは、他のユーザーセッションを同時にホストしない専用のセッションホスト仮想マシン (SHVM) 上で実行されます。VDI SHVM の総数は、環境内の VDI ユーザーの総数と同じです。

- VDI ユーザーごとに割り当てられたリソース :*
- vCPU コア × 2
- 8GiB の RAM
- 25GiB ストレージ
- VDI SHVM 技術詳細 : *
- 通常はから "DSV 3"、"Dav4." および "Dasv4" Azure 仮想マシンのファミリー。
- 128GiB の標準 HDD OS ディスク
- 仮想デスクトップ向け Windows 10 Enterprise
- FSLogix によって接続されたコンテナユーザープロファイル
- 会社の共有に接続されたストレージ

GPU ユーザ (SKU: VDM-SUVGPU - ユーザ)

GPU ユーザーのセッションは、他のユーザセッションを同時にホストしない専用のセッションホスト仮想マシン (SHVM) 上で実行されます。GPU SHVM の総数は、環境内の GPU ユーザの総数と同じです。

- GPU ユーザーごとに割り当てられたリソース : *
- 8GiB の GPU RAM
- 25GiB ストレージ
- GPU SHVM の技術的な詳細 : *
- 通常はから "NVv3" および "NVv4" Azure 仮想マシンのファミリー。
- 128GiB の標準 HDD OS ディスク
- 仮想デスクトップ向け Windows 10 Enterprise

- FSLogix によって接続されたコンテナユーザープロファイル
- 会社の共有に接続されたストレージ

その他の VDM SKU

ビジネスサーバ（SKU：VDMs-Azure-business-VM）

ビジネスサーバを環境に追加して、アプリケーションとサービスをサポートできます。

- 各ビジネスサーバ VM には、少なくとも * が割り当てられています
- vCPU コア × 8
- 64GiB の RAM
- 128GiB の標準 SSD OS ディスク
- Windows Server 2012 R2 / 2016/2019
- 通常はから "Esv3"、"Eav4" および "Easv4" Azure 仮想マシンのファミリー。

追加ストレージ（SKU：VDM-1TB-Storage-HPRSCLR）

データストレージレイヤは VDM 環境のプライマリストレージメカニズムであり、Azure Files または Azure NetApp Files（ANF）で実行されます。使用するストレージテクノロジーは、購入した VDM ユーザの合計によって決まります。1TiB 単位で容量を追加できます。

ユーザプロファイル、ユーザデータ、会社共有、アプリケーションデータ、およびデータベースはすべて、このストレージサービスから実行する必要があります。可能な限り VM ディスクにデータを格納しないことを推奨します。

容量は、ユーザあたりの割り当て（25GiB / ユーザ）と追加で購入した TiBs ストレージの合計です。

メートル法	"Azure Files GPv2 の場合"	"ANF Standard の略"	"ANF Premium"
ユーザー数	10-49	50-249	250 人以上
最小サイズ	250 GiB	4TiB 未満	4TiB 未満
IOPS	最大 1,000	最大 250/TiB	最大 1、000/TiB

著作権情報

Copyright © 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. 米国で印刷されていますこのドキュメントは著作権によって保護されています。画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体などの機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。テープ媒体、または電子検索システムへの保管-著作権所有者の書面による事前承諾なし。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、いかなる場合でも、間接的、偶発的、特別、懲罰的、またはまたは結果的損害（代替品または代替サービスの調達、使用の損失、データ、利益、またはこれらに限定されないものを含みますが、これらに限定されません。）ただし、契約、厳格責任、または本ソフトウェアの使用に起因する不法行為（過失やその他を含む）のいずれであっても、かかる損害の可能性について知らされていた場合でも、責任の理論に基づいて発生します。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、またはその他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1 つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許により特許、その他の国の特許、および出願中の特許。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7103（1988 年 10 月）および FAR 52-227-19（1987 年 6 月）の Rights in Technical Data and Computer Software（技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する諸権利）条項の（c）（1）（ii）項、に規定された制限が適用されます。

商標情報

NetApp、NetAppのロゴ、に記載されているマーク <http://www.netapp.com/TM> は、NetApp、Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。